

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長

農作物病害虫発生予察特殊報第1号の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。



連絡先 福井県農業試験場病害虫防除室
TEL 0776-54-9315
FAX 0776-54-5106
E-mail byogaichu-boujo@pref.fukui.lg.jp



福井県病害虫防除室

検索

令和8年農作物病害虫発生予察特殊報第1号

ミナミアオカメムシの発生初確認

1 病害虫名 ミナミアオカメムシ
Nezara viridula (Linnaeus)

2 発生植物 水稻

3 発生経過

令和8年7月、県内水稻早生圃場において、出穂期のすくい取り調査(20回往復)を実施したところ、本種の疑いのあるカメムシを捕獲し、持ち帰り確認した結果、形態的特徴からミナミアオカメムシと同定しました。

4 国内での発生状況

本種は、熱帯から温帯地方南部に広く分布しています。国内では本州、四国、九州、南西諸島、小笠原諸島の一部にのみ分布していましたが、2000年代以降西日本を中心に近畿、東海、関東に分布域が拡大し、計20都府県で特殊報が発表されています。

5 形態と生態

(1) 成虫の体長は12~16mm、体色はツヤのない緑色で、ダイズ子実を吸汁加害するアオクサカメムシによく似ています(写真1)。両種ともに小楯板上端に3つの白い斑点があることは共通していますが(写真2)、本種は触角第3~5節の先半分が褐色(写真3)(アオクサカメムシは黒色)であること、翅の下に隠れる腹部背面の色が緑色(写真4)(アオクサカメムシは黒色)であることで識別できます。また、成虫の体色はアオクサカメムシ同様に遺伝的変異があり、多くの色彩変異(例: 白色帯型という頭部や胸部の上の部分の白い個体)があることも知られています。4~5齢幼虫はアオクサカメムシと酷似しており識別は難しいとされています。

他にも類似したカメムシとして果樹を吸汁加害するツヤアオカメムシがありますが、体色がツヤのある緑色で、小楯板上端に3つの白い斑点がないこと、腹部背面の色が紅色~褐色であることで識別できます。

(2) 年3~4回発生すると言われています。スギなどの常緑樹で越冬した成虫は、春先に麦類やナタネの上で増殖し、その後の世代が水稻やダイズ、野菜類に飛来します。

(3) 成虫で越冬しますが、最寒月の平均気温が5℃以下の地域では越冬できないとされています。

6 被害の特徴

- (1) 水稻の穂を吸汁し斑点米を生じさせます。斑点米カメムシ類の中では大型で吸汁量が多いため、低密度でも斑点米の被害が大きくなるとされています。
- (2) 成虫、幼虫ともに広食性で、水稻のほかダイズ、麦類、野菜類、果樹類等 32 科 145 種以上の植物を吸汁することが知られています。

7 防除対策

- (1) 水稻、ダイズ等の穀類・豆類の他、ナスなどの果菜類、ナシなどの果樹類等で被害が懸念されます。防除にあたっては、各作物のカメムシ類に登録のある薬剤を使用するなど、他のカメムシ類と同様の防除対策を行ってください。



写真1 ミナミアオカメムシ成虫

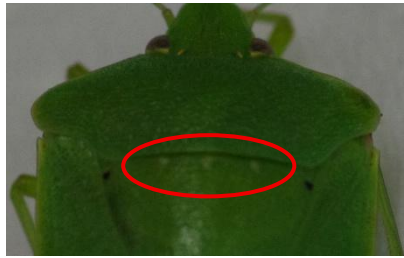


写真2 ミナミアオカメムシの見分け方1
(小楯板上端の3つの白い斑点)

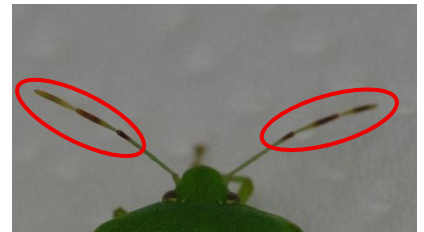


写真3 ミナミアオカメムシの見分け方2
(触覚第3~5節の先半分が褐色)



写真4 ミナミアオカメムシの見分け方3
(翅をめくった腹部背面の色が緑色)